

会社概要

社名	株式会社 大隆設計		
代表者	小村 隆一		
資本金	1,550万円		
本社	出雲市江田町40番地5 TEL 0853-23-8200 FAX 0853-23-4394 (ISO9001認証取得)		
営業所	雲南営業所 雲南市加茂町加茂中1331番地4 TEL(0854)-49-8411 FAX(0854)-49-8412 大田営業所 大田市大田町大田1403番地6 TEL(0854)-84-0606 FAX(0854)-84-0607		

技術者

技術士(建設部門)	5名	一級建築士	1名
技術士(応用理学部門)	1名	測量士(補)	9名(4名)
技術士補	10名	GIS専門技術認定	1名
RCCM	22名	応用情報処理技術者	1名
一級土木施工管理技士	10名	基本情報処理技術者	2名
下水道技術検定	5名(第2種)	情報セキュリティ	1名(SU)
地質調査技士	3名	埋蔵文化財調査士	2名
コンクリート診断士	1名	ピオトップ管理士	1名(1級)、2名(2級)
コンクリート技士	1名	生物分類技能検定	1名(3級)
土木鋼構造診断士補	1名	農業土木技術管理士	1名

表彰・受賞歴

平成19年11月	島根県優良委託業務表彰 静間川・三瓶川浸水想定区域図作成業務(県央県土整備事務所)
平成20年 8月	島根県優良委託業務表彰 八尾川護岸詳細設計業務(隠岐支庁県土整備事務所)
平成21年 2月	第16回しまね景観賞(優秀賞) 神戸川乙立地区災害関連工事
平成21年 6月	島根県優良委託業務表彰 神戸川揚水機場詳細設計業務(その2)(出雲県土整備事務所)
平成21年 7月	優良業務請負団体事務所長表彰 斐伊川境界測量業務(国土交通省出雲河川事務所)
平成22年 7月	優良業務請負団体事務所長表彰 斐伊川放水路護岸設計(国土交通省出雲河川事務所) 同上技術者表彰 同上



株式会社 大隆設計(本社)



〒693-0056 出雲市江田町40番地5
TEL 0853-23-8200 FAX 0853-23-4394
<http://www.dairyu-s.co.jp/>

人と自然の未来へ



建設コンサルタント
株式会社 大隆設計

安心して暮らせる生活基盤の整備

狭く脆弱な国土を守り、安心して暮らせる生活基盤を作ること、それが社会資本整備に課せられた使命です。私たちは生活基盤整備の一翼を担うコンサルタントとして、測量、地質調査、設計等総合的な見地からサポートします。

土木計画・設計

1. 道路・河川
2. 構造物(橋梁・水門・堰・揚排水機場)
3. 農業土木

技術革新の時代において、既往の調査・設計も変化が求められています。環境やコスト等に関する発想と技術を取り入れることにより、新しい時代に対応した計画・設計を目指しています。

環境・河川設計

私たちは川の個性を見極め、その川に適した川づくりを行ってきました。今後も、様々な取り組みを行うことで、後世に誇れる川づくりを目指します。

水理解析・模型実験

水理解析や水理模型実験には、数々の実績を積んできましたが、今後も計算や計測能力の向上を進めることにより、さらに高度な技術力を培っていきます。

公園・生活

1. 公園計画・設計
2. 上下水道設計
3. 修景設計(CG・フォトモンタージュ)

子供たちの笑顔や歓声は何事にも替えがたい宝です。町のあちこちでそんな景色がみられることが私たちの願いです。



河川改修と橋梁計画(八尾川)



水理模型実験



河川改修(神戸川災害復旧)



水辺公園(船通山)



水辺の楽校(横田)



上水道貯水池(出雲市)



CG

すべての生き物との共生をめざす

自然と私たちの生活は相互に関連し、密接に関係していくことが理想ですが、現実にはそうではありません。これからは、河川に自然を取り戻し、河川との繋がりを復活させることが求められています。

私たちは水、土、緑、そして、その源である河川に取り組むコンサルタントとして、緑の大切さ、水の尊さ、そして自然のすばらしさを伝えたいと考えています。

環境調査

1. 環境調査
2. 生態系調査
3. 景観調査

各種事業、あるいは個別の問題点ごとに必要な調査の選定、計画、実施、評価を行います。特に河川に深く関わってきた建設コンサルタントとして、河川の生態系調査や水質調査では数々の実績を積んでいます。

環境予測・解析

1. 環境モニタリング
2. 環境変化予測
3. 環境影響評価
4. 景観変化予測

各事業が環境に与える負荷を軽減するには、その影響を正確に予測する必要があります。さらに、その結果をわかりやすく説明することも求められます。私たちは、最新の技術と経験により、正確でわかりやすい予測や評価を心がけています。



生態系調査状況



生物分類状況



地下水解析(影響評価)

情報サービス、未来に向けて

今まで培ってきた技術、今取り組んでいる技術。技術の情報化を進めながら、その時々に応じた最適なサービスを提供することが努めます。私たちは地域の明日を切り開くコンサルタントとして、「情報」をキーワードとし、未来に向かって走りつづけます。

3次元レーザー計測

1. 遺跡・文化財の図化とデータ保存
2. 橋梁台帳の整備
3. 路面性状の調査
4. 崩壊斜面の図化
5. 法枠工出来形図面の作成
6. 各種構造物の図化

近年の光通信技術の進歩により計測機材のデジタル化が進み、それに伴う3次元計測の精度も急速に向上しています。私たちは今後の更なるデジタル化の需要に対応すべく、3次元レーザースキャンシステムを取り入れ、新規分野への対応および公共事業への展開を進めています。

ラジコンヘリによる空中撮影

1. 竣工写真等各種写真撮影
2. 精密測量用写真撮影

ラジオコントロールヘリコプターによる空撮は機動性、経済性等の面で優れています。

調査・解析

1. 文化財調査・解析
2. 法面調査・解析
3. 洪水氾濫調査・解析

ラジコンヘリによる空撮写真や3次元レーザー計測を利用し、文化財調査や危険法面調査、洪水氾濫調査を行い、その結果をデジタル解析によりシミュレーションします。

情報化・デジタル化

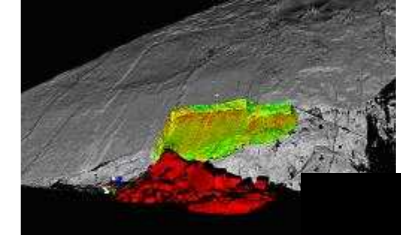
1. GIS
2. 電算システム
3. 情報処理
4. ソフト開発

GISを核とした情報サービスは今後さらに需要が増すと考えられています。水理計算との組み合わせによる氾濫予測、洪水ハザードマップの作成等、時代が求める成果を提供していきます。

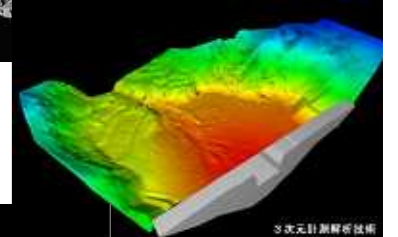
構想・企画運営

1. 検討委員会・WS運営S
2. 各種整備計画、マニュアル策定
3. 工事誌・書籍作成

各事業の構想・計画にあたっては住民意見の反映が必要とされています。また、各事業の内容をわかりやすく後世に伝えていくことが我々の責務の一つです。



法面崩壊箇所のモデリング



ダム貯水池内のモデリング



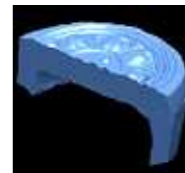
ダムの3次元レーザースキャンデータ



ラジコンヘリによる空撮写真(神戸川河口部)



ラジコンヘリ



遺跡出土品
(モデリングデータ)



遺跡発掘現場の記録(計測データ)



ワークショップ運営



各種書籍作成



全天周パノラマコンテンツ



GISによる施設等の管理情報サービス